

# 都市再生整備計画

いた板 い井 地 区

群馬県 たまむらまち 玉村町

平成19年 3月

## 都市再生整備計画の目標及び計画期間

|       |     |      |               |     |             |    |         |
|-------|-----|------|---------------|-----|-------------|----|---------|
| 都道府県名 | 群馬県 | 市町村名 | たまむらまち<br>玉村町 | 地区名 | いたい<br>板井地区 | 面積 | 24.3 ha |
| 計画期間  | 平成  | 19   | 年度            | ～   | 平成          | 23 | 年度      |
| 交付期間  | 平成  | 19   | 年度            | ～   | 平成          | 23 | 年度      |

### 目標

## 「くらしに安全／地域にふれあい」 多世代が語り合うまちづくり

- 目標① 「人と車」の東西動線軸を確立し、安心して安全な生活（くらし）環境をつくる。  
 目標② 緑や花のある公園と散策路を整備し、まちかど交流（ふれあい）が盛んなまちをつくる。  
 目標③ 多世代が協働するまちづくりを促進し、「住みつけたい」「住んでみたい」と思わせる「まちの魅力」を高める。

### 目標設定の根拠

#### まちづくりの経緯及び現況

- ・平成9年度「板井まちづくり研究会」設立。
- ・平成9年度「玉村町マスタープラン」において、板井地区での「区画整理事業と住民の意思を活かした良好な住環境整備」が示された。
- ・平成9年度～14年度 区画整理を前提としたまちづくりについて検討を進める。
- ・平成15年度「まちづくり研究会」に「板井小学校PTA」及び「子ども会」メンバーが参加し、次世代の視点を加えた「板井まちづくり協議会」へと発展した。
- ・平成17年度「まちづくり協議会」において、区画整理事業にかわり、住民の総意に基づく、適量で適切な整備手法の方向性が検討された。
- ・平成18年度 玉村町に対し、「まちづくり協議会」から「地域生活軸」「県道アクセス道路」「地域コミュニティー核」の三要素整備の方針が示された。

#### 課題

#### 【基盤施設の充実と地域コミュニティーの確立が急務である】

- ・本地区は、農村集落から始まる典型的なスプロール市街地であり、紆余曲折した狭隘な道路網のため、人や車の円滑な移動が極めて困難である。
- ・地区南を走る「主要地方道 高崎・伊勢崎線」は通過交通量が多い上、地区内と高低差があるため見通しが悪く、交差点での出会い頭の事故が多く発生している。
- ・地区にはミニ開発やアパートが多いため、古くから住む人と移住してきた人達との連帯感が弱く、ひとつの地域コミュニティーが形成しにくい。

#### 将来ビジョン(中長期)

#### 【地域への愛着を感じ、住みつけたいと思うまちをつくる】

- ・平成9年度策定の「玉村町マスタープラン」にもとづき、「都市基盤の整った、安全で住みやすい住環境」の創出をめざす。
- ・無系統な道路網を改良し、日常生活の基盤となる「人と車の動線軸」を確立する。
- ・「桜並木の散策路」や「ふれあい拠点としての公園」など、地域交流のシンボルを整備する。
- ・地域主導の「まちづくり活動」を推進し、日常生活の中に、自らが住む地域への貢献意識を浸透させる。

### 目標を定量化する指標

| 指 標            | 単 位 | 定 義                 | 目標と指標及び目標値の関連性              | 従前値  | 目標値  |     |
|----------------|-----|---------------------|-----------------------------|------|------|-----|
|                |     |                     |                             | 基準年度 | 目標年度 |     |
| 基盤施設整備に対する不満足度 | %   | 円滑な日常生活に必要な基盤施設量の不足 | 地区内幹線道路等の整備による、安全性と利便性の向上   | 70   | H17  | H23 |
| 地区内居住世帯の増加     | 戸   | 住環境の改善に伴う流入人口の増加    | 定住人口増加による、地域のにぎわいとふれあいの促進   | 255  | H17  | H23 |
| まちづくり活動への参加意識  | %   | 地域主導による、まちづくり活動の推進  | まちづくり活動を通じた地域愛の強化と多世代の連帯感創出 | 35   | H17  | H23 |
|                |     |                     |                             |      |      |     |
|                |     |                     |                             |      |      |     |

## 都市再生整備計画の整備方針等

| 計画区域の整備方針   | 方針に合致する主要な事業   |
|---|--|
| <p>◎ 「人と車」の東西動線軸を確立し、安心して安全な生活(くらし)環境をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地区の人と車の幹線軸として、2ルートの東西動線軸を確立する。</li> <li>・車のメインルートとしては、地区中央の町道を適切に拡幅し、「人と車・車と車」のすれ違いに支障がない道路(板井まちなかメインルート)を整備する。</li> <li>・車のメインルートには、適宜イメージハンプを設置し、主要な交差点付近等での視覚的な速度抑制を図る。</li> <li>・人のメインルートとしては、町道2548号線に附帯する「古川」に床板を設置し、車道から分離した安全な歩行空間を整備する。</li> <li>・「主要地方道 高崎・伊勢崎線」へのアクセスルート(全4路線)は、適切な拡幅を施し、安全なすれ違いと視距の改善を図る。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業 : 道路「板井まちなかメインルート整備事業」</li> <li>・基幹事業 : 道路「古川ふれあいロード整備事業」</li> <li>・基幹事業 : 道路「県道アクセスルート整備事業」</li> </ul> |
| <p>◎ 緑や花のある公園と散策路を整備し、まちかど交流(ふれあい)が盛んなまちをつくる。</p> <p>◎ 多世代が協働するまちづくりを促進し、「住みつけたい」「住んでみたい」と思わせる「まちの魅力」を高める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「板井まちなかメインルート」の沿道には、くらしに密着した、語り合いやふれあいのコアとして、「まちかど公園」を4ヶ所と「まちかどポケットパーク」を1ヶ所整備する。</li> <li>・地域への愛着また主体的なまちづくりへの参加意識を促進するため、「板井まちづくり協議会」の活動を支援する。</li> </ul>   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基幹事業 : 公園「板井まちかど公園整備事業」</li> <li>・提案事業 : まちづくり活動支援事業「板井まちづくり協議会支援事業」</li> </ul>                              |
| <p>その他</p>  |  |
| <p>◎ 交付期間中の事業管理について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・交付期間中の円滑な事業管理のため、関連部署との連携に努め、事業進捗管理や事業効果の評価について、定期的な協議を行う。</li> </ul> <p>◎ 事業期間終了後の展開</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本整備計画の終了後についても、継続的なまちづくり活動の推進に努める。特に、基盤施設の維持管理を担えるまちづくり組織の育成を目指す。</li> </ul>  |  |

